

後の予算額は2億1320万円。

● 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

保険基盤安定繰入金の精算等により、20万円の減額。補正後の予算額は4億2329万円。

● 介護保険特別会計補正予算(第3号)

保険勘定
国県、支払基金の精算等により、7177万円の減額。補正後の予算額は33億4561万円。

● 公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

事業費精算等により、2179万円の減額。補正後の予算額は10億2520万円。

● 特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

事業費精算等により、215万円の減額。補正後の予算額は1億7885万円。

● 下水道汚泥処理事業特別会計補正予算(第1号)

事業量確定により、972万円の減額。補正後の予算額は1億5127万円。

● 駐車場事業特別会計補正予算(第1号)

除雪費の精算等により、260万円の増額。補正後の予算額は730万円。

● 情報施設特別会計補正予算(第2号)

事業費精算等により、205万円の増額。補正後の予算額は9722万円。

● 給食費特別会計補正予算(第2号)

学校休業に係る精算により、41万円の増額。補正後の予算額は3415万円。

● 国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス対策に係る精算等により、市民病院事業収益4120万円の減額。市民病院資本的収入2000万円の増額。

◆ 令和3年度当初予算 14件
当初予算額合計

301億5120万円

一般会計予算 186億円

国民健康保険特別会計 事業勘定 26億2700万円

直営診療施設勘定 2億540万円

後期高齢者医療特別会計 4億1720万円

● 介護保険特別会計 33億5560万円

● 公共下水道事業特別会計 10億7300万円

● 特定環境保全公共下水道事業特別会計 1億7700万円

● 農村下水道事業特別会計 3億2800万円

● 個別排水処理施設事業特別会計 1460万円

● 下水道汚泥処理事業特別会計 1億6400万円

● 駐車場事業特別会計 380万円

● 情報施設特別会計 2億8550万円

● 給食費特別会計 3490万円

特別会計 合計(11件) 86億8600万円

● 水道事業会計 8億7218万円

● 国民健康保険病院事業会計 19億9301万円

企業会計 合計(2件) 28億6520万円

◆ 令和3年度補正予算 1件

● 一般会計補正予算 (第1号)

新型コロナウイルス対策

関連で、2億1999万円の増額。補正後の予算額は

188億1999万円。《追加上程・当初同時補正予算》

予算特別委員会Q&A

3月補正

総務部

Q 市民税増額の要因は。

A 12月に退職所得分がほぼつかめたので今回増額補正した。

Q 法人税割の増額要因は。

A 下半期決算に見込み以上の実績があったことによる。

Q 予備費を増額する理由は。

A 財源調整及び除雪関連経費に対応するため。

企画部

Q 賃貸住宅家賃補助金減額の理由は。

A 転出や新居を構える方が多かったことによる。

市民福祉部

Q 入学入園準備支援金減額の理由は。

A 令和2年度入園入学された方の99・6%の申請だった。

Q 園児の減少が見込まれる中、私立保育園の運営への影響は。

A 今後のシミュレーションを行っている。それをもとに各園と話をしていく。

Q 国・県費だけの対応が難しくなった場合の対応は。

A 民営化した経緯もあり、そうであれば私立への応援も検討する。

Q 保育士の確保など今後の対応は。

A 推計では10年後3割減の見込み。未満児等増加も考えられる中、来年度は支援員の育成含め保育士確保対策を展開する予定。

Q コロナ関連でコールセンターのオペレーター数は。

A 最大8名。4月中は2名体制の予定。

Q コロナ禍でのがん検診・基本健診の見直しは。

A ガイドラインで、がん検診は隔年でよいものもある。基本健診は従来どおり進める。

環境水道部

Q 循環型社会形成推進交付金減額の理由は。

A 合併浄化槽設置に対する補助金で、設置見込み数が4基から1基となったため。

Q 清流の国ぎふ推進交付金減額の理由は。

A ごみ減量事業に充てる予定が不採択となった。

Q ごみのポイ捨てが増えたとの声があるが対応は。

A 情報は受けている。広報誌での啓発、パトロールの強化で対応する。

農 林 部

Q 林業振興費で森林環境譲与税を使った事業は。

A 調査委託料、伐採委託料、森林所有者特定推進事業委託料と広葉樹のまちづくり看板製作補助金である。

基盤整備部

Q 車両購入費の減額が大きいがどのような車両か。

A 河合地区に除雪ドーザー、宮川地区にロータリー機能付きドーザー各1台を購入。

教育委員会

Q 小学校費の繰入金を減額、この内容は。

A 当初、財源は学校設備整備基金を充てていたが、コロナ交付金を充ててもよいことになり調整した。

Q 清流の国ぎふ推進補助金の採択基準は。

A 特色のある事業、モデルになる事業を採択する傾向がある。

新年度予算

総 務 部

Q 市民税、固定資産税の減少傾向は今後も続くのか。

A 減少傾向は長く続かないと考える。固定資産税は土地の評価額は下落しているが、償却資産が多くを占めており、全体としては横ばいが続くと考えている。

Q 家屋スクリーニング調査の内容は。

A 航空写真を利用して、新築、増築、滅失を把握する。

Q RPA会議録システム実験導入の委託料の内容は。

A システム利用費用で今後も継続する。実証実験結果を見て他部署へ拡大する予定。

Q ケーブルテレビ民間移譲の利用者説明会は。

A 個々に案内し説明をする。新規地区は令和3年度後半までには説明会を予定。

企 画 部

Q 情報力メラ（自治体アプリ）を神原峠や数河峠に設置できないか。

A 降雪時には良いと思う。検討する。

Q 台湾新港郷との友好交流、旅費208万の内訳は。

A 職員2名と一般10名分の旅

費など。

Q 交流時期はいつなのか。

A 状況によるが秋以降。

Q 空き家を移住検討者に活用できないか。

A 市が管理する使えるような空き家がない。ゲストハウスが急増したこともあり、それらの宿泊補助を検討した。

Q 移住奨励金制度の創設で地元商品券での交付とあるが商品券の期限が6カ月しかない。現金でも良いのでは。

A 市内で消費して頂けるよう、さるぽコインか商品券を選択して頂く。

Q 薬草ビレッジ構想プロジェクトの薬草栽培技術研究の目的は。

A メナモミ、クズ、ドクダミを掘り下げて商品開発をする。令和5年には成果を上げたい。

Q 地域おこし協力隊に期待することは。

A まちづくり、薬草、ドローン、広葉樹など分野を絞り込み、委託として事業を行って、出来れば会社を立ち上げて頂きたい。

Q 結婚新生活応援事業を創設し今後も続けるのか。

A 国の交付金が続けば続ける。祝い金は市単独事業であり様子

をみる。

Q 結婚祝い金には年齢制限はないのか。

A 年齢制限はない。

Q この祝い金の成果とは。

A 喜んでもらえること。助かったと言ってもらえること。

各振興事務所

Q 池ヶ原湿原のトイレ整備の考えは。

A 仮設トイレで対応。車いす用も設置する。常設トイレは検討したが断念した。

Q 食用バラの生産者・生産量の状況は。

A 今は作ったものが十分に出荷されていない。生産者も高齢であることから飛驒ゆいと検討していく。

Q 鉱山資料館の活用について

A 鉱山の歴史が後世にしっかり伝わるように整備すべき。

A 今後、しっかり検討していきたい。

市民福祉部

Q 「こころの健康相談窓口」への相談件数は。

A 毎月1回実施し平均1名。

Q 訪問での相談は。

A 随時相談もあり、担当が訪問等し、内容に応じ受診などケースに合わせて対応している。

Q 令和2年度のがん検診300人はコロナの影響での人数か。

A コロナの影響ではない。

Q 予約人数の拡充はしないのか。

A がん検診は外部委託で検査センターとの調整により、増やさない。

Q 電話とwebでの予約併用は上手くいくのか。

A それぞれの予約数に枠を決め対応する。

Q 一時保育無料お試し券の交付に対する保育士の確保、保育士不足は大丈夫か。

A 予約制とし公立保育園で対応できる範囲内とする。

Q 私立保育園にも拡充するのか。

A 公立保育園で試行し、体制が整えば拡充したい。

Q 障がい者グループホーム整備で対象者の年齢、今後のスケジュールは。

A 40代から60代の10名程度。令和5年度までには供用開始したい。

Q 多重債務問題への対応強化で東海労働金庫と締結するとあるが、他の金融機関との兼ね合いは。

委員会 Q&A

A 労働金庫にさせて頂くことを伝えた。

国民健康保険特別会計

Q 令和3年度の特定健診はコロナの影響を考慮した日程なのか。

A 対象者数に合わせて日程を組んでいる。コロナによる縮小はしていない。

介護保険特別会計

Q 認知症地域支援推進員は何か。

A 職員1名、会計年度職員1名で古川と神岡に配置。

Q 認知の方の情報把握は。

A 日々の相談や包括ケアセンター、地域支援員、民生委員等が連携し対応している。

Q 認知症について地域包括に相談した場合、本人やその家族へのアプローチは。

A 状況を把握し、個々にあった対応をする。

消防本部

Q 山火事に対応した装備に関する予算要望は。

A 装備は今後も揃えていきたい。山火事の訓練は毎年行っている。来年度は消防団と一緒に訓練する予定がある。

環境水道部

Q 最終的に北吉城クリーンセ

ンターは撤去するのか。

A 今後、中継施設として考えているが、処理量が少なくなり施設が不要になれば撤去ということも考えられる。

Q コロナ禍で家庭からのゴミが増えたのではないかな。

A 令和元年度7304t、令和2年度7011tの見込みで前年度より4%減。

Q 24時間資源ごみ回収ボックスの回収頻度は。

A 市職員、回収業者が定期的

に現地確認を行い、古川、神岡は月2回程度。河合、宮川は2〜3ヵ月に1回。

Q 回収ボックス設置の地区要望はないか。

A 要望はないが、状況をみて考えたい。

Q ボックス設置にあたっての地元の理解は。

A 理解を得ている。

Q 野焼きパトロールは何をするのか。

A 以前は苦情が入ったら職員が現場へ行っていたが、パトロールを行い、現地で声掛けを行い注意を促す。

Q ゴミ袋の強度についての苦情は。

A 令和元年に作製したものに

苦情が数件あったが、令和2年度に作製したものは、改良し強度を確認している。

Q ゴミ袋は他町村よりも高い、安くできないか。

A ゴミ袋ひとつ分の処理料は約300円、1枚52円では足りない。袋代はゴミ減量の啓発料

と思っている。ゴミを減らすモチベーションを高めることが必要で、その分、紙、プラの袋を安くしている。支援が必要な方

については対処する。

Q 船津処理区の下水道は、いつ完成するのか。

A 令和4年度の完成を目指し、5年度から運営したい。

Q 坂巻地区は神岡鉱山の水道を使用させて頂いているが、老朽化で困っている。その対応は。

A 水質検査を行っており、検査では異常ない。神岡町の他地区でも水道を使用させて頂いて

いる地区があり、まずは現状把握を行いたい。

農林部

Q 農産物直売所の店舗マネージャーはどのように選ぶのか。

A 今年4月以降指定管理者の全国公募を始める。その中で店舗マネージャーを補充する。

Q 既存の店舗との連携は。

A 指定管理者決定後、具体的に議論する。

Q 有害鳥獣対策は個体調整が必要と思うが。

A 捕獲だけで良いものではなく囲って守ることも大事。両方で進める。

商工観光部

Q 流葉スキー場のリフト更新計画は。

A 来年度は2千4百万円計上している。

Q 流葉スキー場全体が古い設備であるが改修は。

A 17年間抜本的な改修がされていなかった。事業者と協議して計画的に進める。

Q 河合スキー場の所管が商工観光部から教育委員会となるが引継ぎは大丈夫か。

A 修繕を含め管財課、教育委員会、観光課含め3者で進めていく。

基盤整備部

Q 住宅リフォーム支援は。

A 前回の反省を踏まえ、多業業への仕事や大規模改修となるよう100万円を超える工事は補助率を上げた。

Q ひとり親家庭支援住宅で登録された民間賃貸住宅とは。

A 民間賃貸住宅の大家さんに

声掛けをして、ひとり親世帯が入居されていれば登録をお願いしている。今年度は10名の方に補助する。

教育委員会

Q クアオルト街中コースの予定は。

A 神岡町で藤波八丁遊歩道コース、古川町で三寺を中心としたコースを検討中。

Q 集落集会場修繕補助金拡充の経緯は。

A 各地域からの要望が多く検討した結果である。毎年要望の取りまとめを行う。

Q 山城群調査の実施個所は。
A 向小島城を中心に調査を進めたい。

